

安全報告書(2011年)



この安全報告書は、当社におけるバス輸送の安全の確保のための取組みや安全の実態をまとめたものです。

六甲摩耶鉄道株式会社
(バス事業)

1. 利用者みなさまへ

当社バス事業に対し、日頃のご利用とご理解、誠にありがとうございます。当社は、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守とともに経営トップを始め全社員が、安全で安心・快適な交通サービスを提供し、お客様にご満足いただけるよう安全輸送に努めております。

本報告書は、輸送安全マネジメント導入および、道路運送法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに、広くご理解いただくため、2010年度に実施した安全対策を公表するものです。

みなさまからの声を輸送の安全に役立てたく、是非、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

六甲摩耶鉄道(株) 取締役社長 上田 均

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念は、安全を最優先する企業風土の構築に向けて、「安全方針」を次のように掲げ、社長以下従業員全員に周知・徹底しております。

安全確保の最優先がバス事業者の使命であることを深く認識し、社長及び役員・社員一同、一致協力して事故の防止に努め、安全確保に最善の努力をつくす。

輸送の安全に関する法令及び関連する規程を遵守するとともに、運行に関する規程をよく理解し、厳正かつ忠実に職務を遂行する。

職務遂行にあたり、必要な確認を励行し、憶測による取扱いをしてはならない。また、運行の取扱いに習熟するように努め、その取扱いに疑いのあるときは、最も安全と思われる取扱いを行う。

職務遂行にあたっては、関係者との連絡・報告を緊密にして、打ち合わせを正確に行い、お互いに協力する。

安全管理体制を適切に維持するために、常に問題意識を持ち、輸送の安全に係わる業務上の改善を図る。

(2) 安全目標

当社は、「2010年度 安全目標」を達成するため、社長及び役員・社員一同、一丸となって輸送の安全確保に取り組んで参りましたが、当社バスと自家用自動車が接触する事故が1件発生しました。

2010年度 安全目標

「責任事故『0』の達成」

「飲酒・酒気帯び出勤の撲滅」

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1) バス運転事故

2010年度につきましては、法律で定めるところの自動車事故報告規則に係るバス運転事故は発生しておりません。しかしながら12月に、六甲山上道路の急峻なヘアピンカーブにおいて、自家用自動車と接触する事故を惹起いたしました。幸いにもバスのお客さまを始め、自家用自動車の運転士、バス運転士に怪我などの負傷は発生しておりません。

対策として、運転士全員に対し、事故概要を説明し、路線の狭い箇所やヘアピンカーブ等見通しの利かない個所の運転は、常に対向車があるものと想定し、特段の注意をもっての前路注視と、最徐行運転の実行を指導しました。

また、車内転倒事故を防止するために、運転発進時には、必ず車内マイク放送で発進予告放送を徹底して行うと共に、スムーズな坂道発進の運転を指導し、お客さまが安全、且つ快適にご利用いただけるよう努めております。

万が一、重大事故が発生した場合は、「非常事態対策規則」により、社長を責任者とする「事故対策本部」を設置し、警察・消防・救急関係との連絡を密にし、事故の対応・処理を迅速・適切に行い、利用者のみなさまに多大なご迷惑をおかけしないよう心掛けております。

(2) 地震や暴風雨、豪雪などによる輸送障害

2010年度は、台風の接近がなかったことや、暴風雨による路線への土砂崩れ、落石等はなく地震、暴風雨に起因する輸送障害は発生しておりません。しかしながら、冬季には降積雪、路面の凍結がたびたび発生しました。

当社バスは冬場、積雪・凍結する日々が多い六甲山上道路を路線運行するため、11月初旬からスタッドレスタイヤで運行し、同タイヤの使用限度前まで、ノーマルタイヤに交換せずに運行しております。降積雪・道路凍結が予測される場合は、前もって道路管理者と協力し、融雪剤の散布を行い、積雪が多い場合は、除雪車の出動を要請するとともに、激しい降積雪、凍結時には積極的にタイヤチェーンを装着し運行する一方、当社運転士が協力して、融雪剤の散布を行います。

平成23年2月中旬の大雪時は、当社バスもタイヤチェーンを装着しての運行を行いました。六甲山上への各ドライブウェイで自動車の乗り入れ規制が行われました。特に2月14日午後からの降積雪は激しく、夕方から各ドライブウェイの上下の運行禁止が行われ、当社バスも、輸送の安全確保のため、一部の路線で運行休止を行いました。

(3) 車両故障・事故等による輸送障害

車両故障、事故等に起因する輸送障害は発生しておりません。

(4) インシデント(事故の兆候)

2010年度につきましては、国土交通省への報告はございません。

(5) 行政指導等

2010年度につきましては、国土交通省からの指導等はございません。

4. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 重点安全施策

安全目標を達成するため、当社では重点安全施策として2010年度は、下記のような項目を実施し安全に心掛けました。

車両(保有台数 6台)

車両に関しましては、お客さまに対しまして安心してご乗車していただくため、法令に基づき点検整備等を確実に実施いたしました。

タイヤ交換につきましては、定期的を実施し、冬には積雪・凍結道路を通行するため、毎年11月初旬までに、スタッドレスタイヤに交換いたします。また、降雪時や道路凍結時には、チェーン装着運行を積極的に行い、合わせて融雪剤を撒き、運送の安全に努めております。

施設(給油所)

施設(給油所)に関しましては、毎年1回の漏洩点検を実施し、基準を満たした施設であることを確認し神戸市灘消防署へ点検結果報告を行っております。(2010年5月報告済み)

2010年度 安全輸送への投資額

項 目	費用(千円)	備 考
(車両関係) 保有台数 6台		
法定3ヶ月点検及び法定車検整備費	3,039	指定業者で点検
タイヤ交換費(スタッドレスタイヤ・ノーマルタイヤ)	1,370	
(施設関係)給油所		
漏洩点検費	80	指定業者へ依頼
その他・修繕	1,832	
合 計	6,321	

2011年度に関しましても2010年度と同様、法定点検・車検及びタイヤ交換を実施いたします。

(2) 人材教育および計画

当社では、みなさまの安全輸送に役立つよう、2ヶ年に一度の運行管理者講習会(運行管理者)及び3年に一度の運転適性診断(運転士全員)ならびに運転保安教育を行っています。

2010年度につきましては、

1. 教育・訓練計画

下記の通り運動期間中を中心に、年間教育訓練を計画実施いたしました。

- ・ 春の全国交通安全運動 4月
- ・ 夏の交通事故防止運動.(安全運転推進運動) 7月
- ・ 秋の全国交通安全運動 9月
- ・ 年末年始の輸送等に関する安全総点検 12月～1月
- ・ 人権教育 3月

輸送の安全確保の実効性を高めるため、経営トップによる安全施策講習会を開催し、資質の向上に取り組んでまいりました。

ヒヤリ・ハット情報の報告制度を導入し、営業・安全マネジメント会議(年4回以上開催)にて

ヒヤリ・ハットの情報を取りまとめ乗務員教育の具体的な指導計画を立て、教育を行いました。

車イス乗降訓練を年2回実施いたしました。

タイヤチェーン(冬季のみ)脱着訓練を従業員全員、実施いたしました。



(非常口点検及び処置訓練)



(日常点検)



(安全施策講習会)

「国家試験」運行管理者試験に1名が合格いたしました。

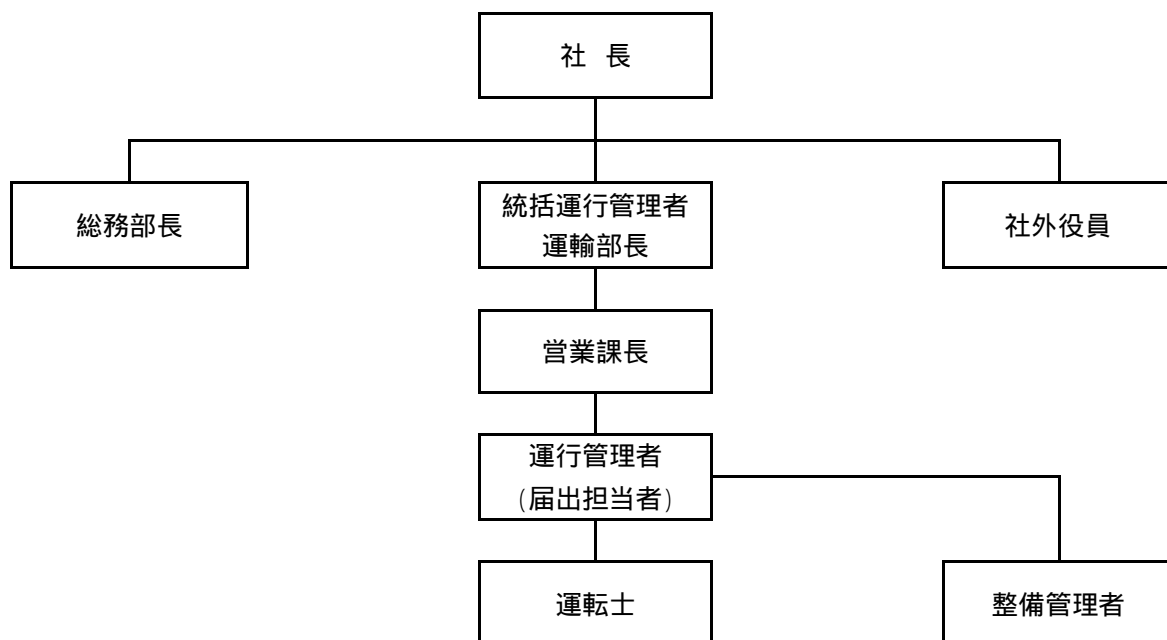
運行管理者の運行管理者講習会の受講 1名

- (3) 緊急時対応訓練 毎年1回以上、車両の非常口点検及び処置訓練を実施しております。
- (4) 運行管理者による点呼において、アルコールチェックを導入し及び、運転士の健康状態の確認を正確に行い、責任事故「0」と「飲酒・酒気帯び出勤の撲滅」の継続を目指します。
- (5) バスジャック統一対応マニュアルを作成し、従業員全員に周知・徹底し、お客様に安全で安心・快適な交通サービスを行えるよう、安全輸送に努めております。
- (6) 安全のための投資と支出

安全の維持・向上のため、営業収入の10%を目処に安全関連設備への投資や車両・施設(給油所・バス停)の修繕費に充てています。今年度におきましては、安全関連設備と修繕費におきましては、約6,321千円(バス営業収入の約10%)となりました。

5. 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。



役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
総務部長	投資計画、予算計画、要員計画その他必要な計画に関する事項を統括する。
統括運行管理者 運輸部長	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
営業課長	運輸部長の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
運行管理者 (届出担当者)	旅客自動車運送事業運輸規則に基づき、運転士の管理及び運行に関するすべての業務を管理する。

6. 地元のみなさまとの連携とお願い

(1)「お客さまの声をかたちにしています」

より安全で信頼されるバス事業を継続するため、みなさまからのお寄せいただいた声を役立てていきたいと思っております。積極的なご意見を頂ければ幸いです。

7. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せください。

ご連絡先
六甲摩耶鉄道株式会社 六甲山上バス 神戸市灘区高羽字西山8番地の2 電話 078 - 891 - 0222 FAX 078 - 861 - 4700 E-mail rc-shita@hanshin.co.jp
お問い合わせ時間 9:00 ~ 20:00

安全報告書(2010年)



この安全報告書は、当社におけるバス輸送の安全の確保のための取組みや安全の実態をまとめたものです。

六甲摩耶鉄道株式会社
(バス事業)

1. 利用者みなさまへ

当社のバス事業に対して、日頃のご利用とご理解、誠に有難うございます。当社は、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守とともに経営トップを始め全社員が、安全で安心・快適な交通サービスを提供し、お客様にご満足いただけるよう安全輸送に努めております。

本報告書は、輸送安全マネジメント導入および、道路運送法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくため、2009年度に実施した安全対策を公表するものです。

みなさまからの声を輸送の安全に役立てたく、是非、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

六甲摩耶鉄道(株) 取締役社長 上田 均

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念は、安全を最優先する企業風土の構築に向けて、「安全方針」を次のように掲げ、社長以下従業員全員に周知・徹底しております。

安全確保の最優先がバス事業者の使命であることを深く認識し、社長及び役員・社員一同、一致協力して事故の防止に努め、安全確保に最善の努力をつくす。

輸送の安全に関する法令及び関連する規程を遵守するとともに、運行に関する規程をよく理解し、厳正かつ忠実に職務を遂行する。

職務遂行にあたり、必要な確認を励行し、憶測による取扱いをしてはならない。また、運行の取扱いに習熟するように努め、その取扱いに疑いのあるときは、最も安全と思われる取扱いを行う。

職務遂行にあたっては、関係者との連絡・報告を緊密にして、打ち合わせを正確に行い、お互いに協力する。

安全管理体制を適切に維持するために、常に問題意識を持ち、輸送の安全に係わる業務上の改善を図る。

(2) 安全目標

当社は、2009年度の責任事故は皆無であり、現在におきましても社長及び役員・社員一同、さらなる事故皆無の運転保安業務に取り組んでまいります。

2009年度 安全目標

「責任事故「0」の達成」

「飲酒・酒気帯び出勤の撲滅」

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1) バス運転事故

安全目標で述べました通り2009年度につきましては、国土交通省へのバス運転事故報告はございませんでした。また、運転士全員に対し発進時には、必ず車内マイク放送で発進予告放送を徹底して行うよう指導すると共に、スムーズな坂道発進の運転を指導し、安全、且つ快適にご利用いただけるよう、運行に努めております。

万が一、事故が発生した場合は、非常事態対策規則により警察・消防・救急関係との連絡を密にし、事故対策本部を設置し、利用者のみなさまに多大なご迷惑を掛けまい心掛けております。

(2) 災害(地震や暴風雨、豪雪など)

2009年度につきましては、大きな地震、台風等による暴風雨、豪雪による被害は発生しておりません。

(3) 輸送障害

当社では、車両の運行の安全性を維持するため、給油所施設・車両等の法定点検を実施しております。2009年度につきましては、冬季の積雪、路面の凍結が少なからず発生しましたが、一時運転を見合わせる事はございませんでした。

(4) インシデント(事故の兆候)

2009年度につきましては国土交通省への報告はございません。

(5) 行政指導等

2009年度につきましては、国土交通省からの指導等はございません。

4. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 重点安全施策

安全目標を達成するため、当社では重点安全施策として2009年度は、下記のような項目を実施し安全に心掛けております。

車両(保有台数 7台)

車両に関しましては、お客さまに対しまして安心してご乗車していただくため、法令に基づき点検整備等を確実に実施いたしました。また、5月には、新車を1台購入いたしました。

タイヤ交換につきましては、定期的を実施し、冬には積雪・凍結道路を通行するため、毎年11月初旬までにスタットレスタイヤに交換いたします。また、降雪時や道路凍結時には、チェーン装着運行を積極的に行い、合わせて融雪剤を撒き、運送の安全に努めております。

施設(給油所)

施設(給油所)に関しましては、毎年1回の漏洩点検を実施し、神戸市灘消防署へ点検結果報告を行っております。(2009年5月報告済み)

2009年度 安全輸送への投資額

項 目	費用(千円)	備 考
(車両関係) 保有台数 7台		
新車購入 1台	21,407	
法定3ヶ月点検及び法定車検整備費	3,182	
ラジアルタイヤ交換費	1,754	
(施設関係) 給油所		
漏洩点検費	80	指定業者へ依頼
その他・修繕	1,775	
合 計	28,198	

2010年度に関しましても2009年度と同様、法定点検・車検及びタイヤ交換を実施いたします。

(2) 人材教育および計画

当社では、みなさまの安全輸送に役立つよう、2ヶ年に一度の運行管理者講習会(運行管理者)及び3年に一度の運転適性診断(運転士全員)ならびに運転保安教育を行っています。

2009年度につきましては、

1. 教育・訓練計画

下記の通り運動期間中を中心に、年間教育訓練を計画実施いたしました。

- ・ 春の全国交通安全運動 4月
- ・ 夏の交通事故防止運動.(安全運転推進運動) 7月
- ・ 秋の全国交通安全運動 9月
- ・ 運転保安に関する特別総点検 10月
- ・ 年未年始の輸送等に関する安全総点検 12月～1月
- ・ 人権教育 3月

輸送の安全確保の実効性を高めるため、経営トップによる安全施策講習会を開催し、資質の向上に取り組んでまいりました。

ヒヤリ・ハット情報の報告制度を導入し、営業・安全マネジメント会議(年4回以上開催)にてヒヤリ・ハットの情報を取りまとめ乗務員教育の具体的な指導計画を立て、教育を行いました。

車イス乗降訓練を年2回実施いたしました。



(タイヤチェーン装着訓練)



(日常点検)



(運転保安教育)

タイヤチェーン(冬季のみ)脱着訓練を従業員全員、実施いたしました。

滋賀県にありますクレフィール湖東 交通安全研修所にて、1泊2日の安全運転研修を運

転士全員受講し、お客様の気持ちを理解した運転の向上に努めました。本年度に関しましては、新規採用をいたしました、社員1名が受講いたしました。

「国家試験」運行管理者試験の受験に1名が合格いたしました。

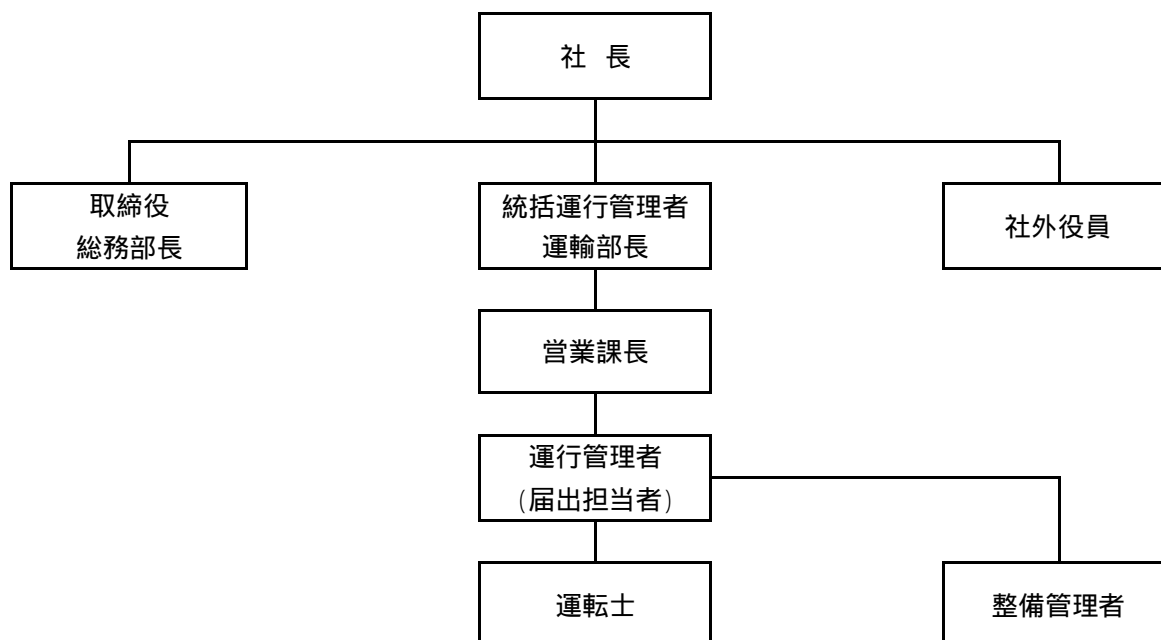
運行管理者の運行管理者講習会の受講 2名

- (3) 緊急時対応訓練 毎年1回以上、車両の非常口点検及び処置訓練を実施しております。
- (4) 運転管理者による点呼において、アルコールチェック及び、運転士の健康状態の確認を正確に行い、責任事故「0」の継続を目指します。
- (5) バスジャック統一対応マニュアルを作成し、従業員全員に周知・徹底し、お客様に安全で安心・快適な交通サービスを行えるよう、安全輸送に努めております。
- (6) 安全のための投資と支出

安全の維持・向上のため、営業収入の10%を目処に安全関連設備への投資や車両・施設(給油所・バス停)の修繕費に充てています。今年度におきましては、バス車両(1台)購入の投資額は、21,407千円、安全関連設備と修繕費におきましては、約6,791千円(営業収入の約10%)の総額28,198千円となりました。

5. 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。



役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
総務部長	投資計画、予算計画、要員計画その他必要な計画に関する事項を統括する。
統括運行管理者 運輸部長	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
営業課長	運輸部長の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
運行管理者 (届出担当者)	旅客自動車運送事業運輸規則に基づき、運転士の管理及び運行に関するすべての業務を管理する。

6. 地元のみなさまとの連携とお願い

(1)「お客さまの声をかたちにしています」

より安全で信頼されるバス事業を継続するため、みなさまからのお寄せいただいた声を役立てていきたいと思っております。積極的なご意見を頂ければ幸いです。

7. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せください。

ご連絡先
六甲摩耶鉄道株式会社 六甲山上バス 神戸市灘区高羽字西山8番地の2 電話 078-891-0222 FAX 078-861-4700 E-mail rc-shita@hanshin.co.jp
お問い合わせ時間 9:00～20:00

安全報告書(2009年)



この安全報告書は、当社におけるバス輸送の安全の確保のための取組みや安全の実態をまとめたものです。

六甲摩耶鉄道株式会社
(バス事業)

1. 利用者みなさまへ

当社のバス事業に対して、日頃のご利用とご理解、誠に有難うございます。当社は、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守とともに経営トップを始め全社員が、安全で安心・快適な交通サービスを提供し、お客様にご満足をいただけるよう安全輸送に努めております。

本報告書は、輸送安全マネジメント導入および、道路運送法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくため、2008年度に実施した安全対策を公表するものです。

みなさまからの声を輸送の安全に役立てたく、是非、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

六甲摩耶鉄道(株) 取締役社長 上田 均

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全方針」を次のように掲げ、社長以下従業員全員に周知・徹底しております。

安全確保の最優先がバス事業者の使命であることを深く認識し、社長及び役員・社員一同、一致協力して事故の防止に努め、安全確保に最善の努力をつくす。

輸送の安全に関する法令及び関連する規程を遵守するとともに、運行に関する規程をよく理解し、厳正かつ忠実に職務を遂行する。

職務遂行にあたり、必要な確認を励行し、憶測による取扱いをしてはならない。また、運行の取扱いに習熟するように努め、その取扱いに疑いのあるときは、最も安全と思われる取扱いを行う。

職務遂行にあたっては、関係者との連絡・報告を緊密にして、打ち合わせを正確に行い、お互いに協力する。

安全管理体制を適切に維持するために、常に問題意識を持ち、輸送の安全に係わる業務上の改善を図る。

(2) 安全目標

当社は、2008年度の責任事故は皆無であり、現在におきましても社長及び役員・社員一同、さらなる事故皆無の運転保安業務に取り組んでまいります。2008年度 安全目標につきましては、2007年度に1件の車内転倒事故が発生いたしましたので、2008年度も引続き同じ目標とさせていただきます。

2008年度 安全目標

「ゆっくり走ろう安全運転」

「バス車内での転倒事故防止」

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1) バス運転事故

安全目標で述べました通り2008年度につきましては、国土交通省へのバス運転事故報告はございませんでした。また、2007年度に発生いたしました車内転倒事故以来、運転士全員に対し発進時には、必ず車内マイク放送で発進予告放送を徹底して行うよう指導すると共に、スムーズな坂道発進の運転を指導し再発防止に努めております。

万が一、事故が発生した場合は、非常事態対策規則により警察・消防・救急関係との連絡を密にし、事故対策本部を設置し、利用者のみなさまに多大なご迷惑を掛けまいよう心掛けております。

(2) 災害(地震や暴風雨、豪雪など)

2008年度につきましては、大きな地震、台風等による暴風雨、豪雪による被害は発生しておりません。

(3) 輸送障害

当社では、車両の運行の安全性を維持するため、給油所施設・車両等の法定点検を実施しております。2008年度につきましては、冬季の積雪、路面の凍結が少なからず発生しましたが、一時運転を見合わせる事はございませんでした。

(4) インシデント(事故の兆候)

2008年度につきましては国土交通省への報告はございません。

(5) 行政指導等

2008年度につきましては、国土交通省からの指導等はございません。

4. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 重点安全施策

安全目標を達成するため、当社では重点安全施策として2008年度は、下記のような項目を実施し安全に心掛けております。

車両(保有台数 6台)

車両に関しましては、お客さまに対しまして安心してご乗車していただくため、法令に基づき点検整備等を確実に実施いたしました。

また、タイヤ交換を定期的に行い、冬には積雪・凍結道路を通行するため、毎年11月初旬までにスタットレスタイヤに交換いたします。また、降雪時や道路凍結時には、チェーン装着運行を積極的に行い、合わせて融雪剤を撒き、運送の安全に努めております。

施設(給油所)

施設(給油所)に関しましては、毎年1回の漏洩点検を実施し、神戸市灘消防署へ点検結果報告を行っております。(2008年5月報告済み)

2008年度 安全輸送への投資額

項 目	費用(千円)	備 考
(車両関係) 保有台数 6台		
法定3ヶ月点検及び法定車検整備費	3,225	
ラジアルタイヤ交換費	1,292	
(施設関係) 給油所		
漏洩点検費	80	指定業者へ依頼
その他・修繕	604	
合 計	5,201	

2009年度に関しましても2008年度と同様、法定点検・車検及びタイヤ交換を実施、及び新車1台を購入いたします。

(2) 人材教育および計画

当社では、みなさまの安全輸送に役立つよう、2ヶ年に一度の運行管理者講習会(運行管理者)及び3年に一度の運転適性診断(運転士全員)ならびに運転保安教育を行っています。

2008年度につきましては、

1. 教育・訓練計画

下記の通り運動期間中を中心に、年間教育訓練を計画実施いたしました。

- ・ 春の全国交通安全運動 4月
- ・ 夏の交通事故防止運動(安全運転推進運動) 7月
- ・ 秋の全国交通安全運動 9月
- ・ 年未年始の輸送等に関する安全総点検 12月～1月

輸送の安全確保の実効性を高めるため、経営トップによる安全施策講習会を開催し、資質の向上に取り組んでまいりました。

ヒヤリ・ハット情報の報告制度を導入し、乗務員教育の具体的な指導計画を立て、教育を行いました。

車イス乗降訓練を年2回実施いたしました。



(タイヤチェーン装着訓練)



(運転保安教育)

タイヤチェーン(冬季のみ)脱着訓練を従業員全員、実施いたしました。

滋賀県にありますクレフィール湖東 交通安全研修所にて、1泊2日の安全運転研修を運転士全員受講し、お客様の気持ちを理解した運転の向上に努めました。

「国家試験」運行管理者試験の受験に1名が合格いたしました。

運行管理者の運行管理者講習会の受講 3名

(3) 緊急時対応訓練 毎年1回以上、車両の非常口点検及び処置訓練を実施しております。

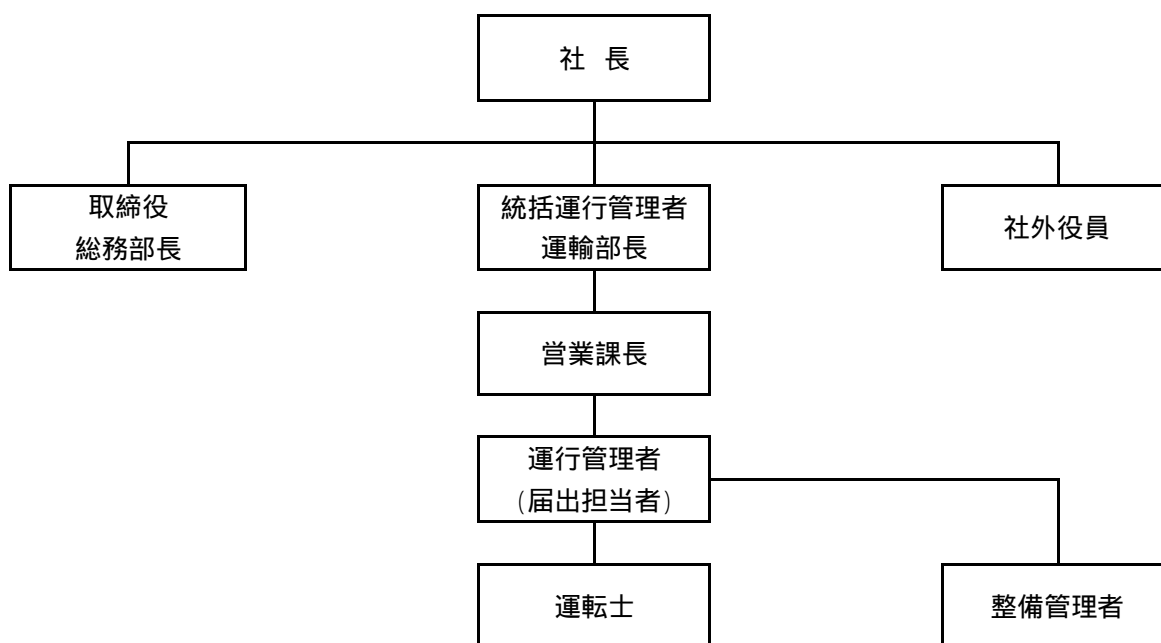
(4) バスジャック統一対応マニュアルを作成し、従業員全員に周知・徹底し、お客様に安全で安心・快適な交通サービスを行えるよう、安全輸送に努めております。

(5) 安全のための投資と支出

安全の維持・向上のため、営業収入の10%を目処に安全関連設備への投資や車両・施設(給油所・バス停)の修繕費に充てています。今年度は、安全関連設備と修繕費の総額が約5,201千円(営業収入の約10%)になりました。

5. 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。



役職	役割
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
総務部長	投資計画、予算計画、要員計画その他必要な計画に関する事項を統括する。
統括運行管理者 運輸部長	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
営業課長	運輸部長の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
運行管理者 (届出担当者)	旅客自動車運送事業運輸規則に基づき、運転士の管理及び運行に関するすべての業務を管理する。

6. 地元のみなさまとの連携とお願い

(1)「お客さまの声をかたちにしています」

より安全で信頼されるバス事業を継続するため、みなさまからのお寄せいただいた声を役立てていきたいと思っております。積極的なご意見を頂ければ幸いです。

7. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せください。

ご連絡先
六甲摩耶鉄道株式会社 六甲山上バス 神戸市灘区高羽字西山8番地の2 電話 078 - 891 - 0222 FAX 078 - 861 - 4700 E-mail rc-shita@hanshin.co.jp
お問い合わせ時間 9:00 ~ 20:00

安全報告書(2008年)



この安全報告書は、当社におけるバス輸送の安全の確保のための取組みや安全の実態をまとめたものです。

六甲摩耶鉄道株式会社
(バス事業)

1. 利用者みなさまへ

当社のバス事業に対して、日頃のご利用とご理解、誠に有難うございます。当社は、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守とともに経営トップを始め全社員が、安全輸送に努めております。

本報告書は、輸送安全マネジメント導入および、道路運送法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。みなさまからの声を輸送の安全に役立てたく、是非、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

六甲摩耶鉄道(株) 取締役社長 今西 淳二

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全方針」を次のように掲げ、社長以下従業員全員に周知・徹底しております。

安全確保の最優先がバス事業者の使命であることを深く認識し、社長及び役員・社員一同、安全確保に最善の努力をつくす。

輸送の安全に関する法令及び関連する規程を遵守し、厳正かつ忠実に職務を遂行する。

安全管理体制を適切に維持するために、不断の確認を励行する。

(2) 安全目標

当社は、安全の確保に最善の努力をつくし、社長及び役員・社員一同、事故皆無の運転保安業務に取り組んでまいりましたが、1件の車内転倒事故がありました。

2007年度 安全目標

「バス車内での転倒事故防止」

「ゆっくり走ろう安全運転」

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1) バス運転事故

2007年度につきましては、平成19年7月に1件の転倒事故が発生いたしましたので、運転士

全員に対し発進時には、必ず車内マイク放送で発進予告放送を徹底して行うよう指導すると共に、スムーズな坂道発進の運転を指導し再発防止に努めました。なお、国土交通省へのバス運転事故報告はありませんでした。また、発生した場合は、非常事態対策規則により警察・消防・救急関係との連絡を密にし、事故対策本部を設置し、利用者みなさまに大変なご迷惑を掛けまいよう心掛けております。

(2) 災害(地震や暴風雨、豪雪など)

2007年度につきましては、大きな地震、台風等による暴風雨、豪雪による被害は発生していません。

(3) 輸送障害

当社では、車両の運行の安全性を維持するため、給油所施設・車両等の法定点検を実施しております。2007年度につきましては、冬季の積雪、路面の凍結が少なからず発生しましたが、一時運転を見合わせる事はございませんでした。

(4) インシデント(事故の兆候)

2007年度につきましては国土交通省への報告はございません。

(5) 行政指導等

2007年度につきましては、車内転倒事故による運行管理者の特別講習を受講いたしました。

4. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 重点安全施策

安全目標を達成するため、当社では重点安全施策として2007年度は、下記のような項目を実施し安全に心掛けております。

車両(保有台数 6台)

車両に関しましては、法令に基づき点検整備等を確実に実施いたしました。

また、お客さまに対しまして安心してご乗車していただくため、タイヤ交換・車内消毒等を定期的に行っております。

施設(給油所)

施設(給油所)に関しましては、毎年1回の漏洩点検を実施し、神戸市灘消防署へ点検結果報

告を行っております。

施設(バス停)

施設(バス停)に関しましては、常に清掃を実施しております。

2007年度の補修項目及び費用は下記のとおりです。

項 目	費用(千円)	備 考
(車両関係) 保有台数 6台		
法定3ヶ月点検及び法定車検整備費	2,940	
ラジアルタイヤ交換費	1,071	
(施設関係)給油所		
漏洩点検費	80	指定業者へ依頼
その他	1,775	
合 計	5,866	

2008年度に関しましては2007年度と同様、法定点検・車検及びタイヤ交換を実施いたします。

(2)人材教育および計画

当社では、みなさまの安全輸送に役立つよう、2ヶ年に一度の運行管理者講習会(運行管理者)及び3年に一度の運転適性診断(運転士全員)ならびに運転保安教育を行っています。

2007年度につきましては、

輸送の安全確保の実効性を高めるため、経営トップによる安全施策講習会を開催し、資質の向上に取り組んでおります。

ヒヤリ・ハット情報の報告制度を導入し、乗務員教育の具体的な指導計画を立て、教育をおこなって行きます。

運行管理者の運行管理者講習会の受講 3名

2008年度は、滋賀県にありますクレフィール湖東 交通安全研修所にて、1泊2日の安全運転研修を運転士全員受講し、お客様の気持ちを理解した運転向上に努めます。

車イス乗降訓練を年2回実施いたしました。



タイヤチェーン(冬季のみ)脱着訓練を従業員全員、実施いたしました。

「国家試験」運行管理者試験の受験に2名が合格いたしました。

「国家試験」危険物取扱者(乙種4類)試験の受験に3名が合格いたしました。

当社は、整備管理者を指定業者に委託いたしておりましたが、当社係員2名が資格を取得いたしましたので、委託を解除し整備管理業務を当社にて行うようになりました。

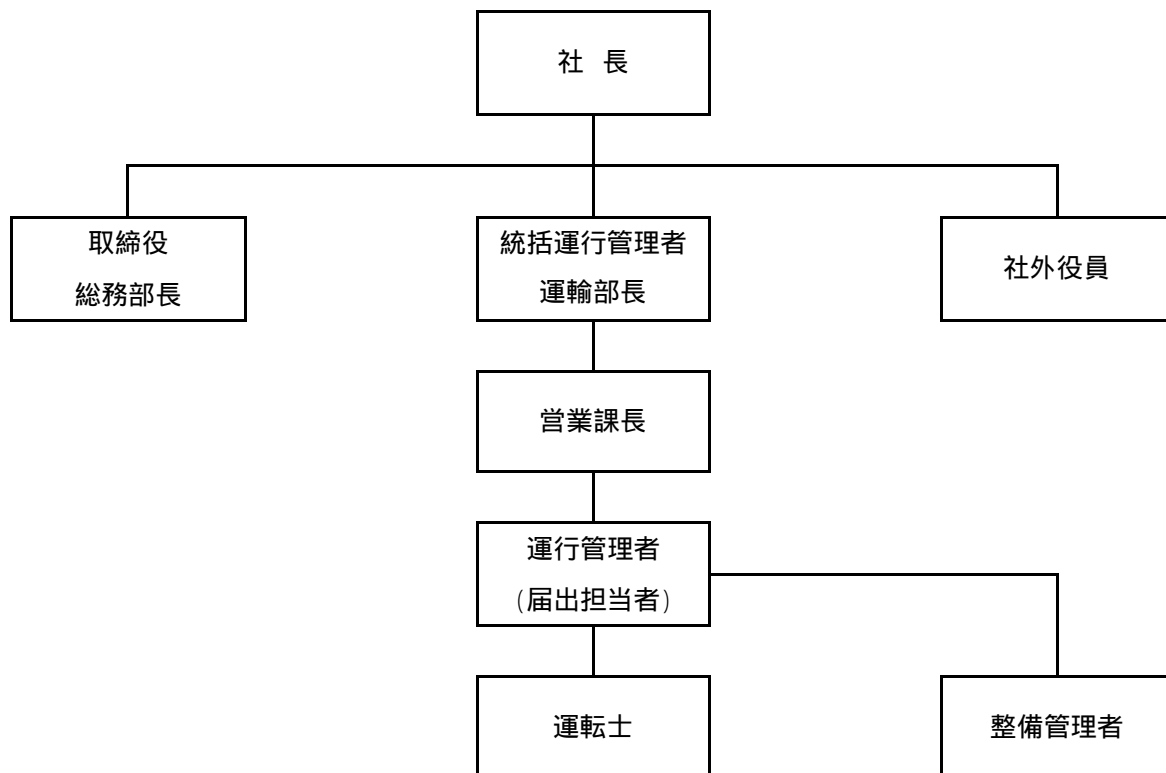
(3) 緊急時対応訓練 毎年1回以上、車両の非常口点検及び処置訓練を実施しております。

(4) 安全のための投資と支出

安全の維持・向上のため、営業収入の10%を目処に安全関連設備への投資や車両・施設(給油所・バス停)の修繕費に充てています。今年度は、安全関連設備と修繕費の総額が約5,866千円(営業収入の10%)になりました。

5. 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。



役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
総務部長	投資計画、予算計画、要員計画その他必要な計画に関する事項を統括する。
統括運行管理者 運輸部長	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
営業課長	運輸部長の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
運行管理者 (届出担当者)	旅客自動車運送事業運輸規則に基づき、運転士の管理及び運行に関するすべての業務を管理する。

6. 地元のみなさまとの連携とお願い

(1)「お客さまの声をかたちにしています」

より安全で信頼されるバス事業を継続するため、みなさまからのお寄せいただいた声を役立てていきたいと思っております。積極的なご意見を頂ければ幸いです。

7. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せください。

ご連絡先
六甲摩耶鉄道株式会社 六甲山上バス 神戸市灘区高羽字西山8番地の2 電話 078 - 891 - 0222 FAX 078 - 861 - 4700 E-mail rc-shita@hanshin.co.jp
お問い合わせ時間 9:00 ~ 20:00

安全報告書(2007年)



この安全報告書は、当社におけるバス輸送の安全の確保のための取組みや安全の実態をまとめたものです。

六甲摩耶鉄道株式会社
(バス事業)

1. 利用者みなさまへ

当社のバス事業に対して、日頃のご利用とご理解、誠に有難うございます。当社は、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、道路運送法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。みなさまからの声を輸送の安全に役立てたく、是非、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

六甲摩耶鉄道(株) 取締役社長 今西 淳二

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全方針」を次のように掲げ、社長以下従業員全員に周知・徹底しております。

安全確保の最優先がバス事業者の使命であることを深く認識し、社長及び役員・社員一同、安全確保に最善の努力をつくす。

輸送の安全に関する法令及び関連する規程を遵守し、厳正かつ忠実に職務を遂行する。
安全管理体制を適切に維持するために、不断の確認を励行する。

(2) 安全目標

当社は、責任事故が皆無であり、現在におきましても社長及び役員・社員一同、さらなる事故皆無の運転保安業務に取り組む所存でございます。

2006年度 安全目標

「バス車内での転倒事故防止」

「ゆっくり走ろう安全運転」

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1) バス運転事故

安全目標で述べました通り2006年度につきましては、国土交通省へのバス運転事故報告はありませんでした。また、発生した場合は、非常事態対策規則により警察・消防・救急関係との連絡を密にし、事故対策本部を設置し、利用者みなさまに大変なご迷惑を掛けまいよう心掛けております。

(2) 災害(地震や暴風雨、豪雪など)

2006年度につきましては、大きな地震、台風等による暴風雨、豪雪による被害は発生しておりません。

(3) 輸送障害

当社では、車両の運行の安全性を維持するため、給油所施設・車両等の法定点検を実施しております。2006年度につきましては、冬季の積雪、路面の凍結が少なく一時運転を見合わせる事もございませんでした。

(4) インシデント(事故の兆候)

2006年度につきましては国土交通省への報告はございません。

(5) 行政指導等

2006年度につきましては、国土交通省からの指導等はありません。

4. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 重点安全施策

安全目標を達成するため、当社では重点安全施策として2006年度は、下記のような項目を実施し安全に心掛けております。

車両(保有台数 8台)

車両に関しましては、法令に基づき点検整備等を確実に実施いたしました。

また、お客さまに対しまして安心してご乗車していただくため、タイヤ交換・車内消毒等を定期的に実施いたしております。

施設(給油所)

施設(給油所)に関しましては、毎年1回の漏洩点検を実施し、神戸市灘消防署へ点検結果報告を行っております。

施設(バス停)

施設(バス停)に関しましては、常に清掃を実施しております。

2006年度の補修項目及び費用は下記のとおりです。

項 目	費用(千円)	備 考
(車両関係) 保有台数 8台		
法定3ヶ月点検費	1,061	
法定車検整備費	1,165	
低床バス 新車購入費	16,629	1台
ラジアルタイヤ交換費	858	
GSU 脱着取替	470	
ミッション修理費	320	
(施設関係) 給油所		
漏洩点検費	80	指定業者へ依頼
その他	858	
合 計	21,441	

2007年度に関しましても2006年度と同様、法定点検・車検及びタイヤ交換を実施いたします。また、ルート一部変更による新規バス停の増設・整備を実施いたします。

(2) 人材教育

当社では、みなさまの安全輸送に役立つよう、2ヶ年に一度の運行管理者講習会(運行管理者)及び3年に一度の運転適性診断(運転士全員)ならびに運転保安教育を行っています。

2006年度につきましては、

運行管理者の運行管理者講習会の受講 3名

運転適性診断の受講や神戸市消防局主催の市民救命士(普通救命コース)を灘消防署におきまして運転士全員が受講しました。

車イス乗降訓練を年2回実施いたしました。

タイヤチェーン(冬季のみ)脱着訓練を従業員全員、実施いたしました。

「国家試験」運行管理者試験の受験に2名が合格いたしました。

「国家試験」危険物取扱者(乙種4類)試験の受験に2名が合格いたしました。

(3) 緊急時対応訓練

毎年1回以上、車両の非常口点検及び処置訓練を実施しております。

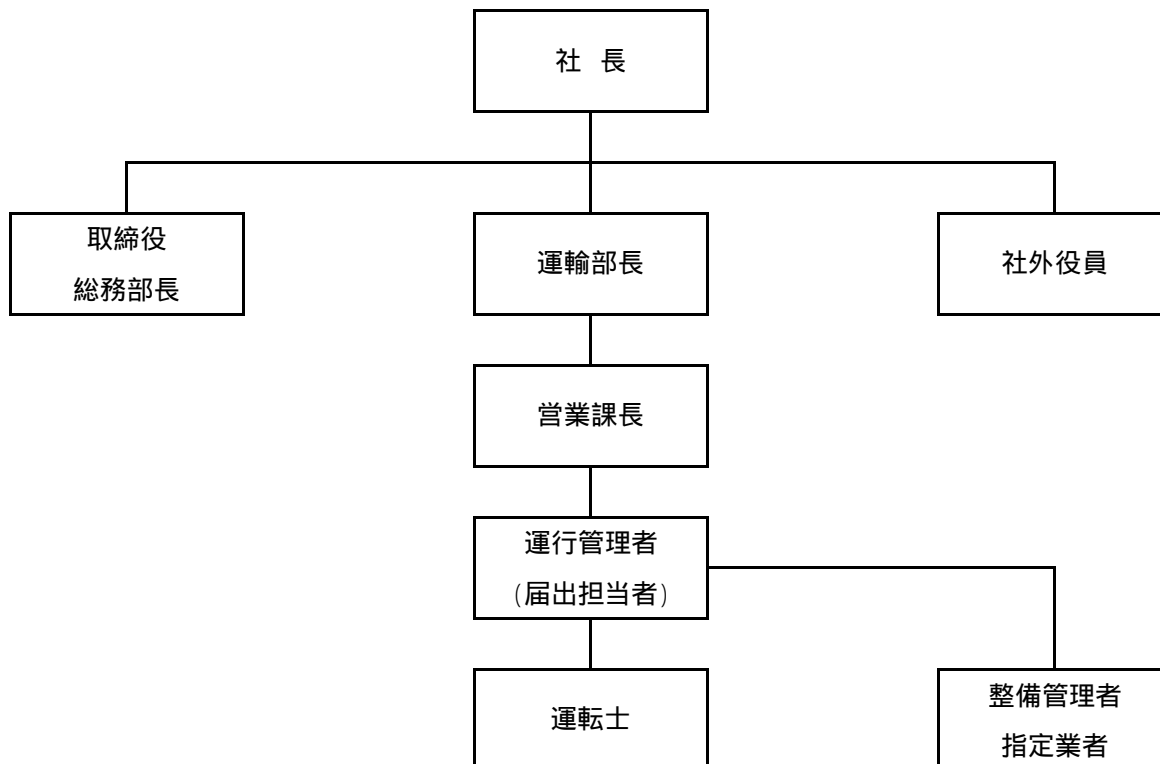
(4) 安全のための投資と支出

安全の維持・向上のため、営業収入の10%を目処に安全関連設備への投資や車両・施設

(給油所・バス停)の修繕費に充てています。今年度は、安全関連設備と修繕費の総額が約2,144万円(営業収入の27%)になりました。

5. 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。また、今年度から安全管理規程に基づき、日々の業務に反映させております。



役職	役割
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
総務部長	投資計画、予算計画、要員計画その他必要な計画に関する事項を統括する。
運輸部長	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
営業課長	運輸部長の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
運行管理者 (届出担当者)	旅客自動車運送事業運輸規則に基づき、運転士の管理及び運行に関するすべての業務を管理する。

6. 地元のみなさまとの連携とお願い

(1)「お客さまの声をかたちにしていきます」

より安全で信頼されるバス事業を継続するため、みなさまからのお寄せいただいた声を役立てていきたいと思っております。積極的なご意見を頂ければ幸いです。

7. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せください。

ご連絡先
六甲摩耶鉄道株式会社 六甲山上バス 神戸市灘区高羽字西山8番地の2 電話 078 - 891 - 0222 FAX 078 - 861 - 4700 E-mail rc-shita@hanshin.co.jp
お問い合わせ時間 9:00～20:00